

2019年10月16日

経済産業省/独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

「サイバーセキュリティお助け隊 実証事業（愛知県）」

中間報告会資料

MS&AD

MS&AD インターリスク総研株式会社

新領域開発部 サイバーリスク室
榎 健介

1. 実証事業の概要（再）

1-1 実証事業概要(1)「全体概要」(※6/19.24募集説明会資料より再掲)

- 実証地域 : 愛知県
- 実証事業期間 : 2019年6月～2020年2月(お助け隊稼働: 2019年7月～2019年11月末予定)
- 参加企業数 : 約200社(中小企業基本法に定義する中小企業)

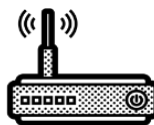
主な実施メニュー	概要
UTM機器配無償配備 サイバー攻撃実態把握	サイバー攻撃を検知するUTM機器を配備し、実証期間中のサイバー攻撃の検知、ログ保全、不正アクセスの検知などトータルにセキュリティサービスを提供します。
アンケートにより実態把握 レベルに応じたセキュリティ対策	事前アンケートによりセキュリティ対策レベルの確認、カテゴリー分けを行い適切なセキュリティ対策支援を行います。事後アンケートにより実証事業の成果を確認します。
サイバーセキュリティセミナー サイバーセキュリティ演習	サイバーセキュリティに関する最新情報の提供や、サイバー演習による課題の洗い出しなどによる気づき、レベルアップを図ります。
コールセンターによる相談受付 駆けつけ隊による駆けつけサポート	サイバーセキュリティに関する相談受付、初期対応を行うコールセンター、セキュリティインシデント発生時の駆けつけ対応などに対応するお助け隊を設置します。
リモート監視サービス	UTM機器による遠隔監視サービスを提供します。
サイバー保険の提供	配備するUTM機器付帯のサイバー保険を提供し、万が一に備えます。
ベストプラクティスの提供 組織体制整備支援によるレベルアップ	中小企業向けのサイバーセキュリティ体制支援ツールやベストプラクティスを提供し、組織体制整備支援を行い、意識向上やレベルアップを図ります。

アンケートにより実態把握
レベルに応じたセキュリティ対策



サイバーセキュリティセミナー
サイバーセキュリティ演習

コールセンターによる相談受付
駆けつけ隊による駆けつけサポート



UTM機器配無償配備
サイバー攻撃実態把握

リモート監視サービス



ベストプラクティスの提供
組織体制整備支援によるレベルアップ

セキュリティ機器付帯
サイバー保険の提供



1-2 実証事業概要(2) 「提供メニューの概要」 (※7/25開始説明会資料より一部修正)

実証事業メニュー		利用可能な 参加企業カテゴリー			実施スケジュール					
					7月	8月	9月	10月	11月	12月
		A	B	C						
1	愛知県お助け隊 専用コールセンター	◎	◎	○	25日	←————→				
2	駆けつけ隊による サポート	◎	◎	○	25日	←————→				
3	UTM機器による サイバー攻撃の検知									
	据置型UTM	◎	◎	—	25日	←————→				
	クラウドUTM	◎	◎	—	25日	←————→				
4	サイバー保険 (UTM付帯) の付保	◎	◎	—	25日	←————→				
5	セキュリティ体制 構築支援	○	◎	◎		28日 29日				
6	サイバー演習 (A群向け)	◎	—	—			24日			
	サイバー演習 (B群向け)	—	◎	—				23日 24日		
7	サイバーセキュリティセミナー 兼中間報告会	◎	◎	◎				16日		
8	成果報告会	◎	◎	◎						11日 16日

2. 「サイバーセキュリティお助け隊 実証事業（愛知県）」の参加状況

2-1 実証事業参加状況

(1) 実証事業参加状況 (2019/10/15時点)		
正式申込企業数 (web申込完了企業数)	201社	①
事前アンケート提出済み企業数	193社	
事前アンケート未提出企業数	2社	②
実証事業辞退企業数	13社	③
現在稼働中の企業数	186社	① - ② - ③

(2) カテゴリ・UTM手配状況 (2019/10/15時点)			
A群	25社	現行利用・手配なし	17社
		据置型UTM	1社
		クラウド型UTM	7社
B群	154社	現行利用・手配なし	64社
		据置型UTM	32社
		クラウド型UTM	58社
C群	7社	現行利用・手配なし	7社

2 - 2 事前アンケート結果について

⇒ MS&ADインターリスク総研株式会社
「実証事業参加企業のサイバーセキュリティ状況に関する実態」
の資料にてご説明します。

2-3 【参考】サイバーセキュリティお助け隊に関する記事

- 2019/4/24 日刊工業新聞
サイバー対策支援強化 中小向け「お助け隊」始動 経産省
- 2019/5/28 フジサンケイビジネスアイ
15府県でサイバー対策強化 経産省 中小支援へ、損保とIT企業連携
- 2019/6/20 中部経済新聞
サイバーセキュリティー実証事業の参加企業募集 MS&AD総研
- 2019/7/2 日本経済新聞
サプライチェーンに死角 中小のサイバー対策徹底4%
- 2019/8/21 日経産業新聞
サイバー対策「お助け隊」始動 NECなど、中小向けに各地で ⇒愛知県お助け隊の説明会時の写真が使われております。
- 2019/9/26 日本経済新聞
中小、予算や人員不足

3. 「セキュリティ体制構築支援セミナー」(8/28.29開催)

3-1 セキュリティ体制構築支援セミナー（概要）

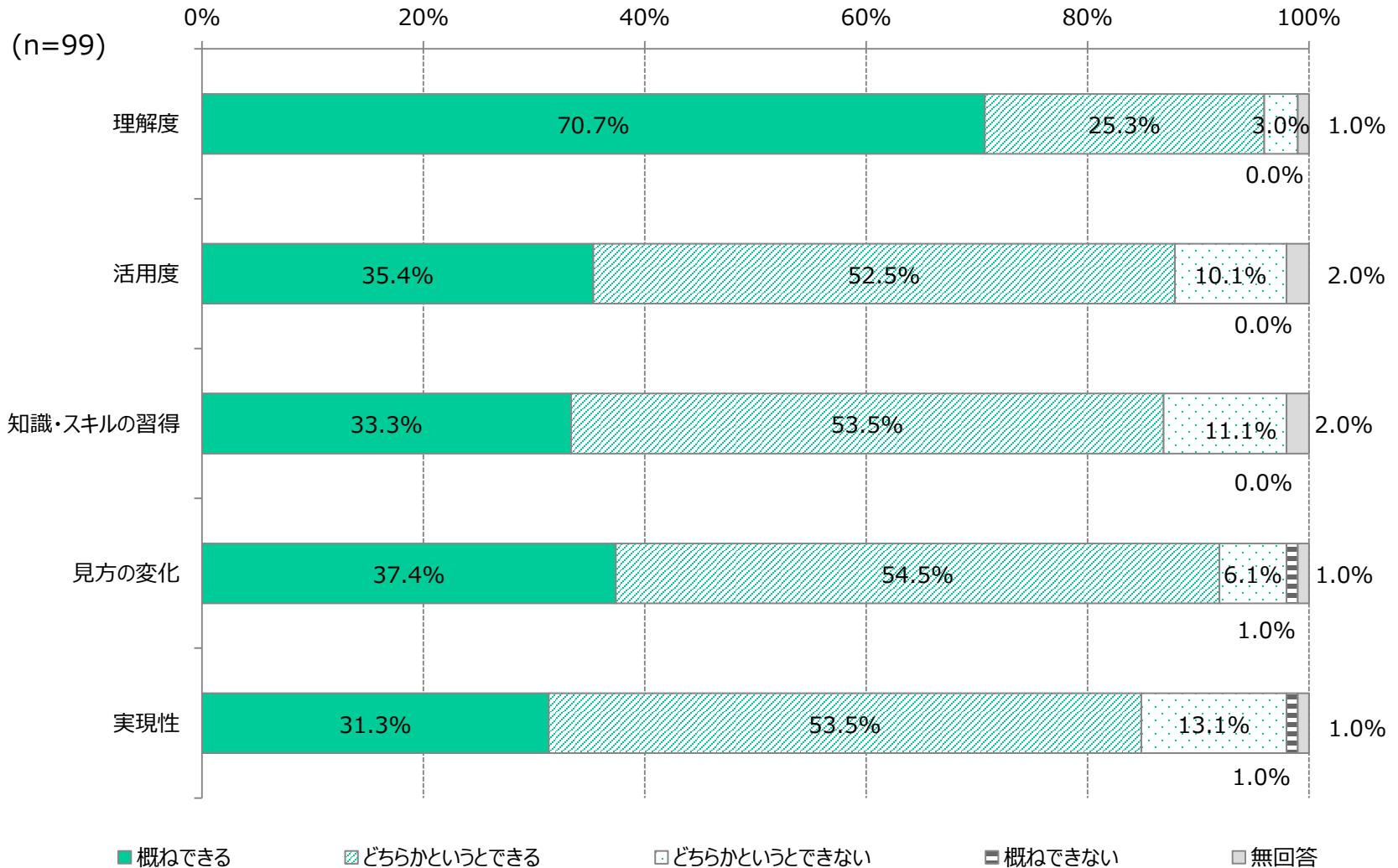
- 目的 : サイバーセキュリティ組織体制が十分でない企業の組織体制構築を目指す
- 日程 : 2019年8月28日（水）、29日（木） 13:30～14:30 15:30～16:30
- 会場 : TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー
- 参加企業数 : 102社（103名）（対象はB群・C群ですが、A群から任意参加もあり）
- 当日資料 : MS&ADインターリスク総研のお助け隊専用ページで公開しております。
<https://www.irric.co.jp/event/190619/>

■ セミナー後アンケート

【セミナーについて】
<ul style="list-style-type: none"> ● 本セミナーの難しさについてお聞かせください。 <input type="radio"/> 概ね理解できた <input type="radio"/> どちらかといえば理解できた <input type="radio"/> どちらかといえば理解できなかった <input type="radio"/> あまり理解できなかった ● 本セミナーがどの程度業務に活用できるかお聞かせください。 <input type="radio"/> 概ね活用できる <input type="radio"/> どちらかといえば活用できる <input type="radio"/> どちらかといえば活用できない <input type="radio"/> あまり活用できなかった ● 本セミナーを通じて、新たな知識やスキルを習得できましたか。 <input type="radio"/> 概ね習得できた <input type="radio"/> どちらかといえば習得できた <input type="radio"/> どちらかといえば習得できなかった <input type="radio"/> あまり習得できなかった ● 適切なサイバーセキュリティ体制を構築するための見方が変わりましたか。 <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかといえばそう思う <input type="radio"/> どちらかといえばそう思わない <input type="radio"/> 思わない ● セミナーで得た知識を使って、サイバーセキュリティ体制の構築・強化を実施できそうですか。 （外部事業者を活用する、もう少し詳細の説明を聞く等を含めてご回答ください） <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらかといえばそう思う <input type="radio"/> どちらかといえばそう思わない <input type="radio"/> 思わない ● 職場に戻って活用したい知識やスキルを教えてください。（複数選択可能です） <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> サイバーセキュリティ体制を構築する <input type="checkbox"/> サイバーセキュリティに関する情報収集を行う <input type="checkbox"/> サイバーセキュリティに関する自社のサイバー攻撃への対応方針・セキュリティポリシーを明示・明確化する <input type="checkbox"/> サイバーセキュリティに関する規程やガイドラインを整備する <input type="checkbox"/> サイバーセキュリティに関する教育・訓練を行う <input type="checkbox"/> SECURITY ACTION 一つ星を取得する（「情報セキュリティ5か条」への取組み宣言） <input type="checkbox"/> SECURITY ACTION 二つ星を取得する
（「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」による自社実態の把握、「情報セキュリティポリシー（基本方針）」の策定と外部への公開宣言）

3-2 セキュリティ体制構築支援セミナー（アンケート結果①）

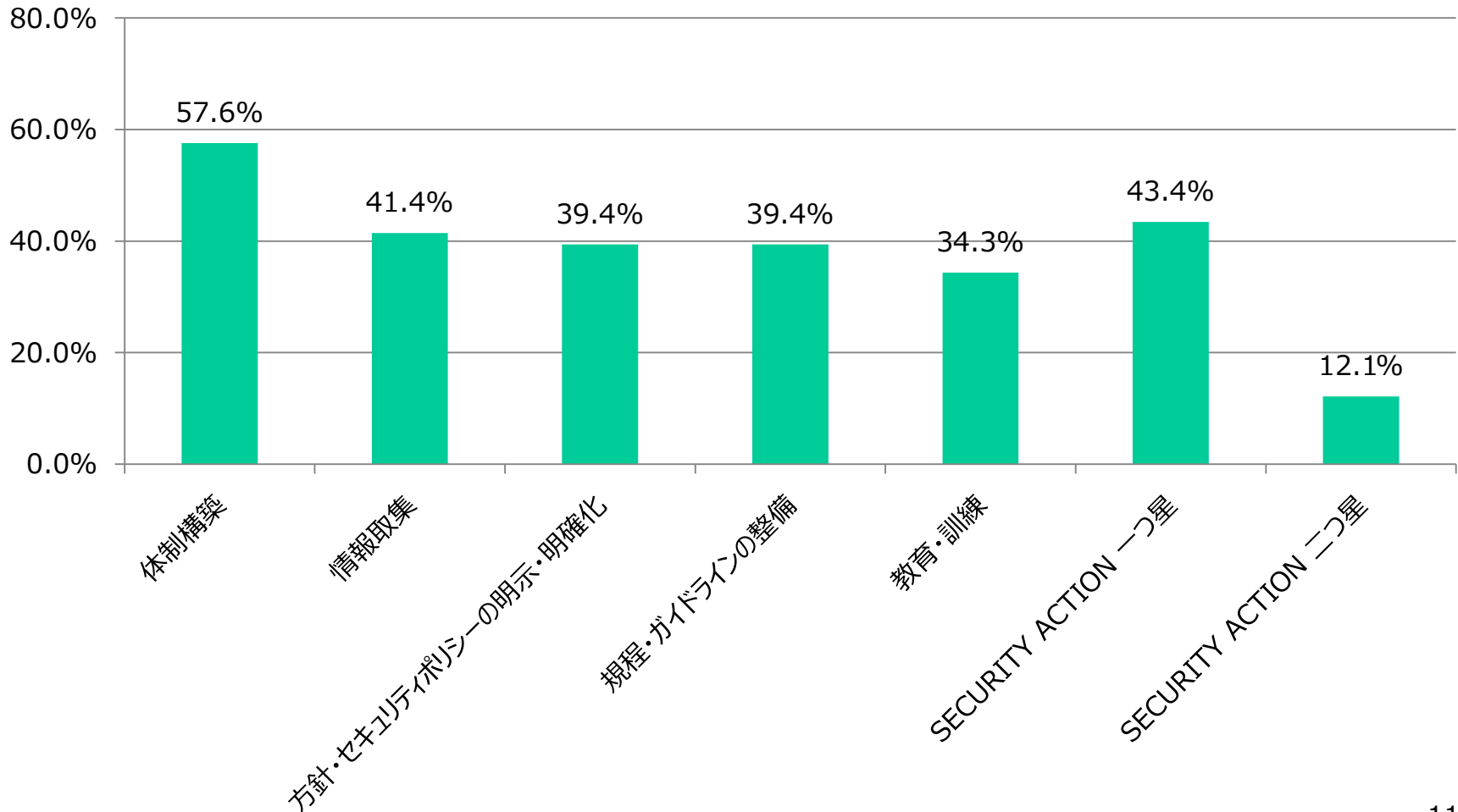
- セミナーの理解度は「理解できる」「概ね理解できる」が96.0%
- その他の項目についても概ね80%を超えている。



3-3 セキュリティ体制構築支援セミナー（アンケート結果②）

- セミナーの目的である「体制構築」への動機づけとなった（57.6%）
- 体制整備の第一歩として「SECURITY ACTION」の取得を宣言した企業が多数（合計55.5%）

総数(n=99)



3-4 【参考】SECURITY ACTION自己宣言状況

- セキュリティ体制構築の第一歩として社内外に宣言するきっかけとなります。
- 実証事業参加企業において、自己宣言が進んでいます。

SECURITY ACTION自己宣言企業（実証事業参加187社中）		
	2019/7/24現在	2019/9/30現在
一つ星	14社	24社
二つ星	3社	6社
計	17社	30社



4. サイバーセキュリティ演習 (A群向け9/24開催、B群向け10/23.24開催予定)

⇒ デロイトトーマツサイバー合同会社の資料にてご説明します

5. 「据置型UTM」と「コールセンター対応状況」について

⇒ NTTアドバンステクノロジー株式会社の資料にてご説明します

6. 「クラウド型UTM」と「駆けつけ隊対応状況」について

⇒ ALSOK（総合警備保障株式会社）の資料にてご説明します

7. 愛知県お助け隊 不正通信対応事例の想定被害

7-1 マルウェア感染による想定被害額

(1) 今回の事象から考えられる被害予測

仮に私物のスマートフォンがマルウェアに感染しており、社内LANと通信可能なWi-Fiアクセスポイントへ接続可能な状態だったとすると、スマートフォンに感染しているマルウェアがWi-Fiを経由して社内LANに侵入し、業務用の全PCに感染、業務停止や機密情報が漏洩することが考えられる。

(2) 対応にかかる概算費用予想（設備費用やUTM監視費用、賠償損害は含まない前提）

【前提条件】業務用PCは25台、売上高は1日当たり100万円、復旧まで14日間とする。

①初動対応 **約15万円**（検知対応、コントロールセンター対応）

②調査対応 **約2610万円**

- ・デジタル・フォレンジック 約2,500万円（約100万×25台の業務用PC）
- ・インシデントレスポンス対応（オンサイト） 約100万円(3日間)
- ・旅費・宿泊費 約10万円

③復旧費用 **約500万円**（PC1台約20万円×25台）

④事業停止による損失等 **約1800万円**

- ・インシデント処理対応 約200万円
- ・広報対応 約200万円
- ・事業停止による機会損失 約1400万円（仮で1日あたり100万円の売り上げ×復旧まで14日間）等

合計 約4925万円（※あくまで想定ですので、実際は大きく変動する可能性があります）

7-2 中小企業が加入しやすいサイバー保険

三井住友海上・あいおいニッセイ同和損保では、一般的な企業向けのサイバー保険のほかに中小企業向けに提供しているサイバー保険（サイバーリスク補償）については以下の2種類があります。
いずれもより簡易に加入できることをコンセプトに開発・提供しているものです。

パターン①

中小企業向けパッケージ型賠償保険に特約でセット

PL保険などの中小企業にとって必要な賠償責任保険の種類をパッケージにした保険商品に「特約（オプション）」としてサイバー保険をセットすることができます。

【中小企業にとってのメリット】



- ① 詳細な告知書を提出する必要無し
- ② 他の賠償保険とセットで検討可能
- ③ 分かりやすいシンプルな補償内容



中小企業向け賠償保険に特約としてセットすることができます。
(売上高100億円以下の企業のみ対象)

パターン②

セキュリティ商材に「おまけ」としてセット

企業向けのセキュリティソフトやクラウドサービスなどに購入した企業を被保険者とするサイバー保険が自動的に付帯されているものです。昨今では様々な商材にサイバー保険が付帯されています。

【中小企業にとってのメリット】



- ① 保険の加入手続きが不要
- ② 「おまけ」なので保険料負担無し
- ③ 「対策」と「保険」を一度に手配可



付帯される保険は汎用商品の簡易版となります。
(補償内容は商材毎に異なります)

MS&ADインシュアランスグループ（三井住友海上・あいおいニッセイ同和損保・MS&ADインターリスク総研）は引き続き中小企業にとって加入しやすい加入方式、補償内容・サービス、販売方法を検討していきます。

8. 愛知県お助け隊 実証事業 今後の流れ・重要なお案内

8 - 1 愛知県お助け隊実証事業 今後の流れ・重要なお案内

(1) B群向けサイバー演習

10月23日、24日 @TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅新幹線口

(2) 成果報告会

12月11日、**16日** @TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口

※開始説明会資料と日程が変更になっておりますのでご注意ください。

(3) 据置型UTM・クラウド型UTMの回収時期

開始説明会資料では、11月末頃とご案内しておりましたが、**時期の延長**を検討中です。協業各社と協議の上、ご利用されている参加企業の皆様に個別にご案内いたします。

(4) コールセンター・駆けつけ隊

こちらも同様に**延長**を検討中です。協業各社と協議の上、皆様にご案内いたします。

(5) 事後アンケート

11月~**12月頃**、皆様にご案内する予定です。全ての参加企業からご回答をお願いします。

(6) ヒアリング

参加企業のうち、数社様に個別にご相談致しますのでご協力をお願いいたします。

※中小企業向けサイバーセキュリティ対策に関して特にご意見・ご要望がある場合は、個別に事務局へご相談ください。

【本件に関するお問い合わせ先】
愛知県お助け隊事務局

MS&ADインターリスク総研株式会社
新領域開発部 サイバーリスク室
(土井、槇、依田)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 ワテラスアネックス10階

TEL : 080-3343-9063 (本実証事業専用電話です)

CyberRisk_irric@ms-ad-hd.com